



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)8月5日号 No.2031

目次

■ 2026年上半期の日ロ貿易	1
■ 統計速報	11
2026年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／11	
■ エトセトラ	12
「第18回日本ウズベキスタン経済合同会議」開催のご案内／12	
「ウズベキスタン繊維・食品産業生産性向上・デジタル化ミッション」のご案内／12	
■ トピックス	12
ロシア、外国人駐在員の資格条件を厳格化／12	
双日、ウズベキスタンの新国際空港開発・運営に参画／13	

2026年上半期の日ロ貿易

はじめに

日本財務省から2026年6月の貿易統計が発表されたことを受け、当会では2026年上半期の日本とロシアの間の貿易に関して、米ドル換算するとともに、輸出入商品構成をまとめた。今回の速報では、解説とともに紹介する。なお、本資料では財務省発表の円表示の貿易統計を独自にドル換算して示している。その際に、図表4、図表6～8、図表10～12は月ごとの為替レートで換算した数値を積み上げているのに対して、図表5と図表9は期平均レートで単純に換算したものである。従って、各図表は総額が微妙にずれているのでご注意いただきたい。

解説

2026年上半期のロシアとの貿易額は42億4,610万ドルとなり、前年同時期から9.6%増え、上半期としては4年ぶりに増加に転じた。新たな追加制裁がなかったことに加え、企業が制裁下での「新常态」に適応し、日系企業による新たな撤退や事業縮小の動きが見られなかったことが、緩やかな回復を支えたと考えられる。また、米国とイランの軍事衝突に端を発したホルムズ海峡の事実上の封鎖の影響により、中古車輸出やエネルギー輸入が増加したことも、貿易額を押し上げた要因である。こうした状況を踏まえると、外的要因に左右される面は依然として残るものの、日ロ貿易は底を打ち、安定的な推移へ移行しつつあるといえる。

日本からロシアへの輸出は、自動車、化学製品(医薬品・化粧品)、自動車部品などが前年同期を上回り、全体では19.9%増の13億5,060万ドルとなった。一方、ロシアからの輸入は、パラジウムや